夏冬の電力安定供給へ 小池都知事と経済団体が意見交換

#東京 #関東 #環境エネ・素材

2022/5/14 2:00

逼迫が懸念される電力確保に向けて経済団体と意見交換する小池百合子都知事ら（13日、東京都庁）

東京都の小池百合子知事は13日、夏や冬の電力確保に向け、経済団体と意見交換した。三村明夫・東京商工会議所会頭、十倉雅和・経団連会長、栗原美津枝・経済同友会副代表幹事がテレビ会議に出席し、安全が確認された原子力発電所の再稼働の必要性などを小池知事に訴えた。

電力需給を巡っては、3月に発生した福島県沖地震の際に一部の火力発電所が稼働を止めた影響で、夏場などに需給が厳しくなる事態が危惧されている。

三村会頭は「原発の早期再稼働を政府と関係自治体に訴えてほしい」と要望した。十倉会長と栗原副代表幹事も原発再稼働の必要性に触れたが、小池都知事からは原発に対する直接的な言及はなかった。

ウクライナ情勢の悪化に伴うエネルギー価格の高騰もあり、都は中小企業の省エネや脱炭素化の取り組みを強化している。小池知事は「都の支援を会員企業に紹介してほしい」と呼び掛けた。十倉会長は「どれも非常に重要な取り組み」と賛同し、栗原副代表幹事は「会員に広く周知する」と応じた。